

PCi-

USERS MANUAL

USB 2.5"/3.5" E-IDE PORTABLE HDD CASE

RX-35U/RX-35U3

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

PCi-
USERS MANUAL
USB 2.5"/3.5" E-IDE PORTABLE HDD CASE

RX-35U/RX-35U3

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

◆ 必ずお読みください ◆

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

◆ ご使用方法 ◆

第2章 ハードウェアの準備

本製品に3.5/2.5インチハードディスクを取り付ける手順を説明します。

第3章 Windows98/Windows98SEへのインストール

本製品のWindows98/Windows98SEへのインストール手順を説明します。

第4章 USBハブを使用する(RX-35U3のみ)

USB機器または、USBハブへの接続を説明します。

第5章 新しいハードディスクを使用する

ハードディスクのフォーマット及び設定方法について説明します。

付録

付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

付録B 仕様

本製品の仕様について説明します

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

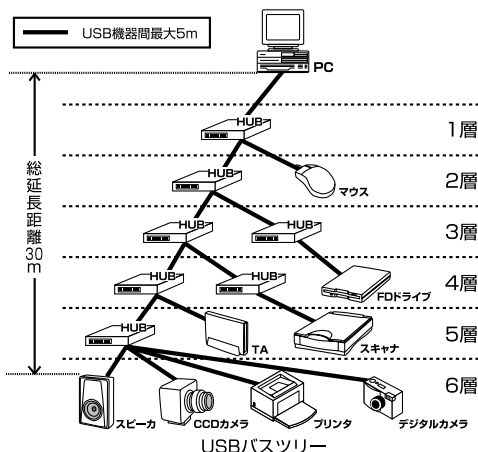
第1章	はじめに	
	1.USB概要	1
	2.製品概要	3
	3.特長	3
	4.推奨ハードウェアおよびOS	4
	5.梱包内容について	4
	6.各部の名称	5
第2章	ハードウェアの準備	9
	1.本体に3.5"HDDを取り付ける	10
	2.本体に2.5"HDDを取り付ける	11
第3章	Windows98/Windows98SEへのインストール	
	1.RX-35Uのインストール	13
	2.RX-35U3のインストール	17
	3.ドライバの削除方法	23
第4章	USBハブを使用する (RX-35U3のみ)	
	1.USB製品を接続する	25
	2.他のUSBハブを接続する	26
第5章	新しいハードディスクを使用する	27
付録A	トラブルシューティング	35
付録B	仕様	37

はじめに

1. USB 概要

USB(ユニバーサルシリアルバス)は、マイクロソフト、インテル、IBM、コンパック、DEC、ノーザンテレコム、日本電気の7社が中心となって1995年に公開されたコンピュータと低中速機器を接続するのに適した汎用シリアルインターフェイス規格です。

USBの接続形態は、一台のホストコンピュータを頂点としたツリー状で、USBハブを介して最大127台までの機器を接続できます。一つのUSBバスツリーの中でUSBハブは5段まで接続でき、末端の機器まで含めた階層は最大6階層になります。ホストコンピュータから末端のデバイスまでの最大ケーブル総延長距離は30m、それぞれの機器間(ハブを含む)の距離は最大5mです。



転送速度はロースピードモード(1.5Mbps)とハイスピードモード(12Mbps)の2種類をサポートしています。どのスピードを使用するかは、それぞれの機器が接続時にホスト側に伝えるようになっていて、ホストは新しい機器が接続されるたびにどの機器にどれくらいの間隔でデータの送受信を行うかのスケジュールを決定します。これによりUSBバスツリーに接続されている全ての機器が公平にデータの送受信を行う事ができるようになります。全てのUSB機器は、コンピュータの動作中にケーブルの抜き差しができるホットスワップ機能と、接続後パソコンを再起動せずに使用する事が可能なプラグアンドプレイの機能を備えているので使用したい機器を使用したい時に接続して利用する事ができます。USB機器には、接続ミスを防止する為にダウストリームポート(タイプBコネクタ)とアップストリームポート(タイプAコネクタ)と呼ばれる、2種類の形状の異なるポート(コネクタ)があります。

USB機器を接続する際は、ダウストリームポートとアップストリームポートを接続します。ポートの形状さえええばどのポートにも接続する事が可能ですが一つのバスツリーの中で接続がループしてしまったり、ホストコンピュータ以外に他のコンピュータを接続する事はできません。

USB機器への電源の供給方法には、従来の周辺機器のようにACアダプタなどから電源を取り込む「セルフ電源方式」と、必要とする電源をUSBケーブルの電源線から取り込む「バス電源方式」があります。このバス電源方式によりマウスやキーボードなどの消費電力の少ないUSB機器は、動作に必要な電源を直接USBケーブルから取り込む事ができます。バス電源方式はさらに、100mA以下の低消費電力機器と100~500mAの高消費電力機器に分けられます。バス電源方式ではACアダプタが不要なため、簡潔に配線を行う事ができますがご使用になるUSB機器が高消費電力の場合、接続先のポートに必要な電力が供給されているかの注意が必要です。

従来のインターフェイスでは、キーボード、マウス、シリアルポート、プリンタポートなどのそれぞれの機器ごとにコンピュータのリソースを使用していましたが、USBを使用した場合は、127台までの機器

を接続してもコンピュータのリソースは、一つしか使用されません。また、既存の周辺機器をUSBに対応させる事で形状の違うコネクタに仕様の異なるケーブルを何本も用意する必要もありません。このようにUSBは、従来のさまざまな機器を接続する事ができるだけで無く、コスト、使い易さ、コンピュータのリソースの面からもメリットがある新しいインターフェイスです。

2. 製品概要

USB 2.5"/3.5"E-IDEポータブルハードディスクケースは、ノートパソコンおよびデスクトップ用の3.5"/2.5"ハードディスクドライブを使用することができます。増設に伴い不要になったハードディスクなどを有効に活用することができるようになります。また、RX-35U3には、3ポートUSBハブが内蔵されており、USBハブなしでUSBデバイスを増設することが可能になります。

3. 特長

USB Spec 1.1に準拠。

フルスピード転送レートをサポートしています。

市販の3.5"/2.5" IDEハードディスクドライブに対応。

プラグアンドプレイ機能に互換しています。

軽量コンパクトなケースを採用

ハードディスクドライブ冷却用のファンを装備。

ステータス確認用のLEDを装備。

狭いスペースでも使用できるよう縦置きも可能。

3ポートのUSBハブを搭載。

それぞれのポートに最大500mAの電流を供給します。

それぞれのポートに荷電流防止機構を備えています。

フルスピードとロースピード転送レートの両方をサポートしています。

127台までのUSB機器をサポートしています。

RX-35Uのみの特徴です。

注意

本製品は、セルフ電源モードで動作します。必ず本製品に付属のACアダプタを使用してください。

4. 推奨ハードウェアおよびOS

486(または、それ以上の)プロセッサを装備したPC/AT互換コンピュータ

Windows98/98SE(セカンドエディション)

Windows98/98SEインストールCDROMが必要です。

5. 梱包内容について

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

RX-35U/RX-35U3本体

ACアダプタ

USBケーブル(1m)

3.5"IDEハードディスク用ケーブル×1

2.5"IDEハードディスク用ケーブル×1

3.5"IDEハードディスク取付けネジ×4

2.5"IDEハードディスク取付けネジ×4

このユーザーズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

6. 各部の名称

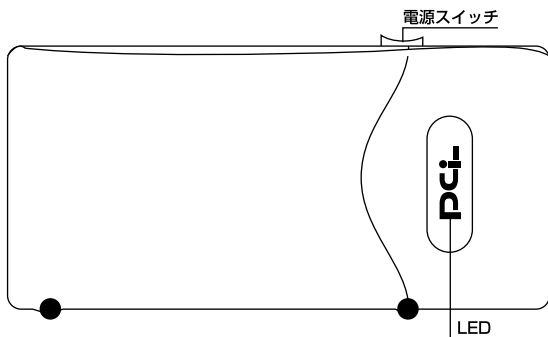


図1-2 表面図

<LED>

通電中は緑色に点灯します。USBポートもしくはUSBデバイスに異常があるときは点灯しません。

<電源スイッチ>

使用時は、「ON」にして下さい。

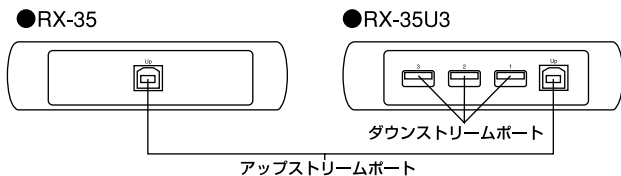


図1-3 USBポート図

<UPポート>

本製品をコンピュータまたは、他のUSBハブと接続するためのポートです。

<ポート1~3>

本製品にUSB機器を接続するためのポートです。

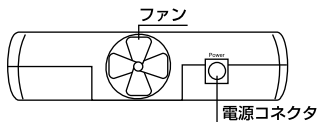


図1-4 ファン 電源コネクタ図

<Power>

付属のACアダプタを接続します。

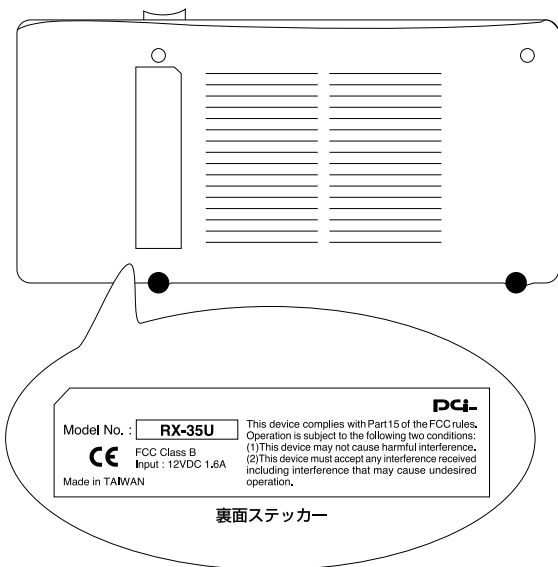


図1-5 背面図

< 品番 >

本製品の製品型番です。

< シリアル番号 >

本製品のシリアル番号です。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

ハードウェアの準備

本章ではハードディスクの取り付け方法について説明します。
本製品は、デスクトップおよびノートパソコン用の内蔵ハードディスクとして使用されている3.5インチおよび2.5インチのIDEタイプのハードディスクドライブ(以下3.5"HDD、2.5"HDD)を使用する事が可能です。

3.5"HDDを使用する場合は 2-1 を、2.5"HDDを使用する場合は 2-2 をそれぞれ参照してください。

⚠ 注意

ハードディスクの取り扱いには、注意が必要です。ハードディスクに付属のマニュアルを参照してください。

ハードディスクは、必ず下記の図のように持ってください。ディスクを損傷する恐れがあります。



1. 本体に3.5" HDDを取り付ける

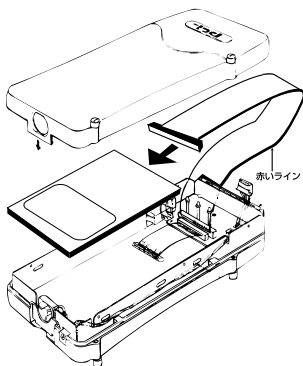
1. 本体の下側を手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で引き上げるとカバーが外れます。



2. ケースの中蓋を外して中に入っている付属品を取り出します。3.5" HDDを使用するときは幅の広い40pinのIDEケーブルを使用しますので、このケーブルを用意してください。

3. IDEケーブルの赤いラインが本製品の40pin IDEポートの1番ピン(基板上に「1」と印刷されている側)にくるようにケーブルの一方を取り付けます。

4. 本製品に取り付けたIDEケーブルの赤いラインが、3.5" HDDの40pin IDEコネクタの内側(電源コネクタ側のpin)にくるように取り付けます。(3.5" HDDを搭載したとき、ドライブの腹の部分が上を向くようになります。)



HDDのジャンパー設定はMasterに設定してください。

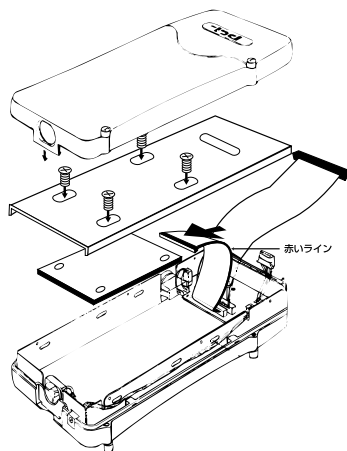
- 5.電源コネクタを取り付け3.5"HDDをケースに収納します。
- 6.3.5"HDD側面のねじ穴をケース側面のネジ穴に合わせて付属のネジで固定してください。
- 7.中蓋を本体に取り付けて手順1で取り外したカバーをはめ込みます。これでハードディスクの準備は完了です。

2. 本体に2.5"HDDを取り付ける

- 1.本体の下側を手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で引き上げるとカバーが外れます。



2. ケースの中蓋を取り外して、中に入っている付属品を取り出します。
2.5" HDDを使用するときは幅の狭い44pinのIDEケーブルを使用しますので、このケーブルを用意してください。



3. IDEケーブルの赤いラインが、本製品の44pinIDEポートの1番ピン（基板上に「1」と印刷されている側）にくるようにケーブルの一方を取り付けます。
4. 本製品に取り付けたIDEケーブルの赤いラインが、2.5" HDDの44pinIDEコネクタの内側（Master/Slave設定pin側）にくるように取り付けます。
HDDのジャンパー設定はMasterに設定してください。
5. 使用する2.5" HDDの底面のネジ穴とケースの中蓋（保護シートの貼ってある面）のネジ穴をあわせて付属のネジで固定します。（2.5" HDDのコネクタのある面が中蓋の穴の空いた方向を向くよう取り付けます。）
6. 中蓋をケースに取りつけて手順 1で取り外したカバーをはめ込みます。これでHDDの準備は完了です。

Windows 98/Windows 98 SEへのインストール

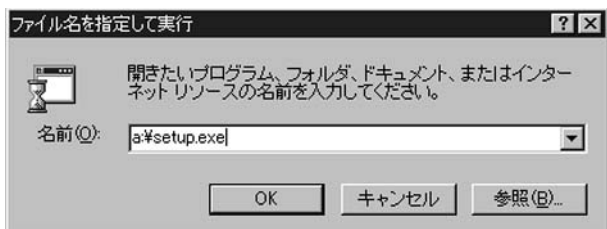
本章では、本製品のWindows 98/Windows 98 SEへのインストール手順を説明します。RX-35Uを使用される場合は、3-1「RX-35Uのインストール」を、RX-35U3を使用される場合は、3-2「RX-35U3のインストール」からそれぞれインストールを開始してください。

1. RX-35Uのインストール

1. 付属のインストーラディスクをフロッピードライブにセットしてください。
2. デスクトップのタスクバーから「スタート」ボタンをクリックして表示されるリストから「ファイル名を指定して実行」をクリックして選択してください。



- 3[名前]の欄に[A:¥SETUP.EXE]を入力し[OK]ボタンをクリックしてください。



- 4[Welcome]と表示されているウィンドウの[Next]ボタンをクリックしてください。ファイルのコピーが始まります。



5. ファイルのインストールが終了すると[Setup Complete]のウィンドウが表示されるので[Finish]ボタンをクリックしてください。



6. 付属のACアダプタのジャックを本製品の「AC」と書いてあるコネクタに差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。ケース側面にあるスイッチを「ON」にしてください。
7. 付属のUSB接続ケーブルを本製品のアップストリームポート（USBコネクタ）に奥まで確実に差し込んでください。
8. 本製品に接続したUSBケーブルの他方をコンピュータまたはUSBハブのUSBポートに接続してください。
9. 本製品がコンピュータに接続されると[USB-IDE Bridge]と[USB-IDE Bridge Controller]が自動的に認識され [新しいハードウェアの追加ウィザード] が開始されます。

- 10.ウィザードが終了したら [マイコンピュータ]を開いて[ローカルディスク]として新しくドライブが認識されているかを確認して下さい。(図の例では「E:」ドライブになります。)



一度ドライブがインストールされてハードディスクが使用可能な状態にある場合は、本製品をUSBポートに接続するだけで使用可能となります。
これでインストールは完了します。

▲ 注意

ハードディスクへアクセス中に、USBポートからケーブルを抜いたり、側面のスイッチをOFFにしないようにしてください。ハードディスクが破損する恐れがあります。ハードディスクの動作状況が不明の場合は本体側面のスイッチをOFFにしてからケーブルを抜いてください。

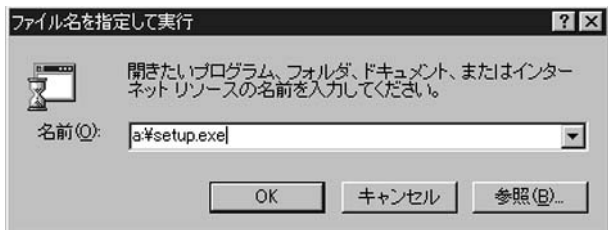
新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第5章 新しいハードディスクを使用する」を参照してください。

2. RX-35U3のインストール

1. 付属のインストーラディスクをフロッピードライブにセットしてください。
2. デスクトップのタスクバーから「スタート」ボタンをクリックして表示されるリストから「ファイル名を指定して実行」をクリックしてください。



3. [名前]の欄に[A:¥SETUP.EXE]を入力し[OK]ボタンをクリックしてください。



4. [Welcome] と表示されているウィンドウの [Next] ボタンをクリックしてください。ファイルのコピーが始まります。



5. ファイルのインストールが終了すると [Setup Complete] のウィンドウが表示されるので [Finish] ボタンをクリックしてください。



6. 付属のACアダプタのジャックを本製品の「AC」と書いてあるコネクタに差し込み、ACアダプタをコンセントに差し込みます。ケース側面にあるスイッチを「ON」にしてください。
7. 付属のUSB接続ケーブルを本製品のアップストリームポート（USBコネクタ）に奥まで確実に差し込んでください。
8. 本製品に接続したUSBケーブルの他方をコンピュータまたはUSBハブのUSBポートに接続してください。
9. 本製品がコンピュータに接続されると[新しいハードウェアの追加ウィザード]が自動的に起動し、[汎用 USB ハブ]が認識されます。[次へ]ボタンをクリックしてください。



- 10[検索方法を選択してください]のウィンドウが表示されるので、[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する。]を選択して [次へ] ボタンをクリックしてください。



11. 検索場所の指定を求めるウィンドウが表示されるので、[検索場所の指定] をチェックして [c:\windows\system] と入力して [次へ] ボタンをクリックしてください。



12. ファイルのコピーが終了したら [完了] ボタンをクリックしてください。



13. 続いて [USB-IDE Bridge] と [USB-IDE Bridge Controller] が認識されます。
14. ウィザードが終了したら [マイコンピュータ] を開いて [ローカルディスク] として認識されているかを確認して下さい。(図の例では「E:」ドライブになります。)



ファイルのコピー中に「ファイルが見つかりません」と表示され、ファイルが要求された場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS(Windows98プリインストールマシンの場合)」と指定していただくか、CD-ROMドライブの「WIN98」を指定してください(CD-ROMドライブが F : の場合「F:¥WIN98」と指定してください)。

一度ドライバがインストールされてハードディスクが使用可能にある場合は、本製品をUSBポートに接続するだけで使用可能となります。

注意

ハードディスクへアクセス中に、USBポートからケーブルを抜いたり、側面のスイッチをOFFにしないようご注意ください。ハードディスクが破損する恐れがあります。

新しいハードディスクを初めて使用する場合は「第5章 新しいハードディスクを使用する」を参照してください。

3. ドライバの削除方法

本製品のドライバをコンピュータから削除する場合は以下の手順で行ってください。

- 1[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]を開いてください。
- 2[インストールと削除]のタブを選択してから、[USB-IDE Bridge Driver]を選択して[追加と削除]ボタンをクリックしてください。
3. ドライバ削除の確認ウインドウが表示されるので、「OK」ボタンをクリックしてください。ドライバの削除が開始されます。
これでドライバの削除は、完了です。

USBハブを使用する(RX-35U3のみ)

本章では、RX-35U3に内蔵されているUSBハブとUSB周辺機器との接続方法、他のUSBハブとの接続方法を説明します。

USB機器は、一台のPC(ホストPC)を頂点としたツリー型の接続(USBバスツリー)で最大127台の機器を接続する事が可能です。USBハブもこの127台の機器の一つに数えられますがその役割は、単純にポート数を増やすだけでなく接続されている機器に電源を供給するなどの機能を備えています。一つのUSBバスツリーの中でUSBハブは、5台まで(ルートハブを含めると6つ)多段接続する事が可能です。

1. USB製品を接続する

本製品のダウンストリームポート(タイプAコネクタ)にUSB周辺機器のコネクタを奥まで確実に差し込んでください。差し込まれたUSB周辺機器がパソコンに認識されるまでの時間は、環境によって異なります。しばらく待ってもパソコン側に認識されないようであれば再度USB周辺機器を本製品に挿し直してください。USB周辺機器の接続の詳細は、それぞれのマニュアルを参照してください。

2. 他のUSBハブを接続する

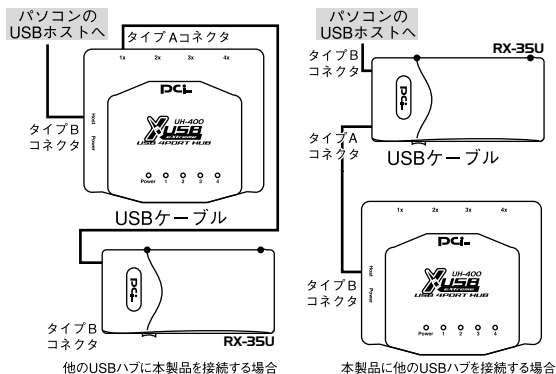
USBハブ同士の接続には、「本製品に他のUSBハブを接続する場合」と「他のUSBハブに本製品を接続する場合」に分けられます。

本製品に他のUSBハブを接続する場合

本製品のダウンストリームポート（タイプAコネクタ）と他のUSBハブのアップストリームポート（タイプBコネクタ）をUSBケーブルで接続してください。

他のUSBハブに本製品を接続する場合

本製品のアップストリームポート（タイプBコネクタ）と他のUSBハブのダウンストリームポート（タイプAコネクタ）をUSBケーブルで接続してください。



▲ 注意

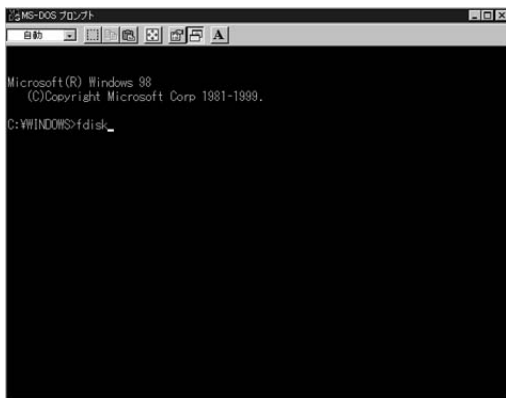
USBハブ同士を接続する場合は、必ずUSBハブに付属のACアダプタを接続してください。

新しいハードディスクを使用する

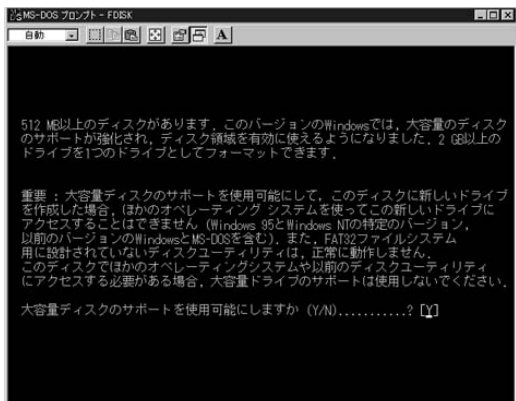
本章では、購入直後のハードディスクを最初に使う場合の方法について説明します。

FDISKでの操作を誤ると現行で使用中のハードディスクの内容を全て失うこととなりますので、FDISKの操作には十分ご注意ください。FDISK実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

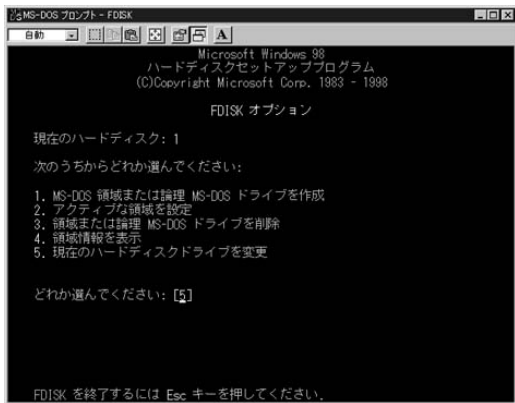
- 1.Windowsを起動し、デスクトップのタスクバーから「スタート」ボタンをクリックして表示されるリストから「プログラム」「MS-DOS プロンプト」をクリックしてDOSプロンプトウインドウを起動してください。
- 2.コマンドプロンプトから「FDISK」と入力して「Enter」キーを押してください。



3. 「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されますので、2GB以上の容量のハードディスクを使用する場合は「Y」を選択してください。



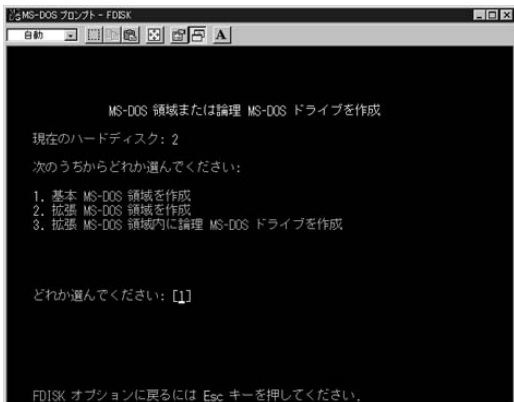
4. 「現在のハードディスクドライブを変更」を選択してください。



- 5.接続されているIDEハードディスクの一覧が表示されますので、「使用」が「%」になっているドライブを選択してください。



6. 「MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選択して「基本 MS-DOS 領域を作成」を選択してください。ドライブのチェック後「最大サイズを割り当てますか」と確認画面が表示されますので、ハードディスクの全領域を確保する場合は「Y」を選択してください。



7. 設定が終了したら「ESC」キーでFDISKを終了してください。
8. コマンドプロンプトに戻るので、「EXIT」と入力して「Enter」キーを押してください。コマンドプロンプトが終了します。
9. コンピュータを再起動してください。

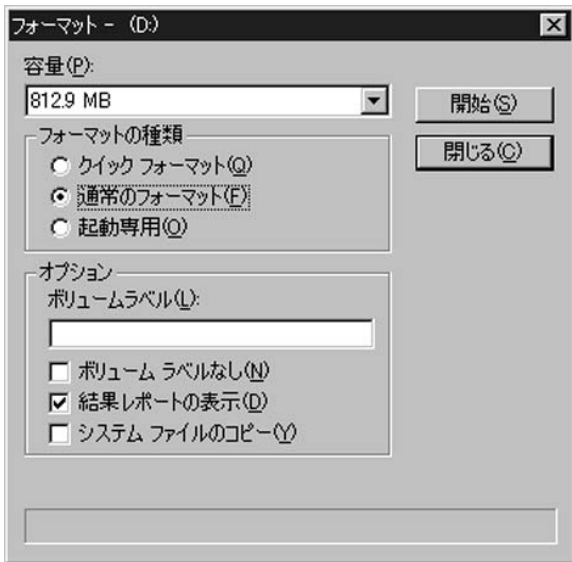
10. コンピュータが再起動したら、「マイコンピュータ」を開いてください。ドライブ番号が一番下位のローカルディスクが、本製品に取り付けられたハードディスクです。各ドライブアイコンの下の「()」の中に書かれているのが、ハードディスクのドライブ番号になります(図の例では「E:」ドライブになります。)



11. アイコンをクリックして反転表示させ、マウスの右ボタンをクリックしてください。



- 12.メニューから「フォーマット」を選択すると以下のウインドウが表示されます。「通常のフォーマット」をチェックして「開始」ボタンをクリックし、フォーマットを開始してください(フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます)



- 13.フォーマット終了後、ハードディスクが利用可能になります。

トラブルシューティング

「ト」 ラブルかな?」と思われる場合は、以下の点を確認してください。

デバイスマネージャーの画面でドライブに「！」マークがついてしまってもうまく動かない

ACアダプタを接続しているか確認してください。本製品をUSB接続で使用する場合はACアダプタが必要です。一旦外してからACアダプタを取りつけて、再度コネクタにセットしてください。

USBハブにUSBケーブルを差したが何も認識しない

USBハブを使用している場合は、ハブを間に入れずコンピュータに直接USBケーブルを差し込んでみてください。

インストール中にキャンセルしたら認識しなくなった

[コントロールパネル] [システム] [デバイスマネージャー]を開いて「その他のデバイス」や「ユニバーサル シリアルバスコントローラ」の中に「！」マークのついた「USB to IDE Adapter」が入っていないか確認してください。入っている場合これを削除し、USBポートからケーブルを抜いて再度差し込んでみてください。

ドライブを組み込んだがドライブが認識されない

新しく用意したハードディスクは領域確保とフォーマットを行う必要があります。第5章を参考に設定を行ってください。

IDE接続と比べてコピーのスピードが遅い

製品の仕様上、USB接続の場合はIDEよりも転送速度は遅くなります。

仕様

< 規格 >

USB spec1.1

< USBポート >

RX-35U : タイプBポート×1

RX-35U3 : タイプAポート×3、タイプBポート×1

< IDEコネクタタイプ >

エンハンスドIDE40ピン×1

エンハンスドIDE44ピン×1

< 消費電力 >

最大10.8W

< 動作温度 >

5 ~ 40

< 動作湿度 >

35% ~ 80%(結露しない事)

< 素材 >

プラスチック

< 重量 >

RX-35U : 300g

RX-35U3 : 350g

< 寸法 >

125 × 240 × 40(W × D × H)mm

< EMI規格 >

FCC Class B、CE

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

ブラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行
FAX : 03-3256-9207

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	USB 2.5"/3.5"ε-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35U/RX-35U3
製造番号 Serial No.	

2.5"
ハードディスク

メーカー	
型番	

ソフトウェア

OS	バージョン
----	-------

ご使用の
パソコン
について

メーカー			
型番			
その他使用中のカード(SCSI / Sound Card等)	IRQ	I/O ADDR	

質問内容

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後1ヵ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1ヵ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。

故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録を行っていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地震、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	USB 2.5"/3.5"€-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35U/RX-35U3
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都府 道県
電話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

郵便はがき

お手数ですが
切手を貼り
ポストに
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町 1-7
ウイン神田高橋ビル5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

ユーザー登録書

(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦 年 月 日
製品名	USB 2.5"/3.5"€-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35U/RX-35U3
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 都 府 道 県
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

RX-35U/U3

Microsoft Windows 2000

インストールマニュアル

Windows2000で使用する場合の設定方法を説明します。

- 1.本製品に付属のUSBケーブルを取り付け、本製品の電源を入れます。ケーブルの反対側のコネクタを、コンピュータのUSBポートに差し込みます。
- 2.Windows2000起動時に「IDE-ATAPI Bridge」が自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。
- 3.本製品に、付属のドライバディスクをコンピュータのフロッピードライブにセットし、「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
- 4.「場所を指定」にだけチェックを入れ「次へ」をクリックします。「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥WIN2K」と入力し、「OK」をクリックします。
- 5.ドライバの検索が始まり、ドライバが検出されますので「次へ」をクリックします。インストールを続行するか聞かれますので、「はい」をクリックします。

- 6.ドライバがインストールされます。インストールが終了すると、完了のメッセージが出ますので「完了」をクリックします。
- 7.RX-35U/U3のドライバのインストール後、「SCSI Adapter」が自動的に認識され、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示されます。[次へ]ボタンをクリックします。
- 8.「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
- 9.「場所を指定」にだけチェックを入れ「次へ」をクリックします。「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥WIN2K」と入力し、「OK」をクリックします。
- 10.ドライバの検索が始まり、ドライバが検出されますので「次へ」をクリックします。インストールを続行するか聞かれますので、「はい」をクリックします。インストール中に、「デジタル署名が見つかりませんでした」というウィンドウが表示されます。「はい」をクリックします。
- 11.インストールが終了すると、完了のメッセージが出ますので「完了」をクリックします。

注:Windows2000の仕様上、32GB以上のサイズのパーティションをFAT32形式でフォーマットする事が出来ません。NTFS形式でのフォーマットでは問題ありません。32GB以上のパーティションを使用する場合は、NTFS形式でフォーマットして下さい。